

朝採り十ぶらす

■十勝産食材を活用した格安居酒屋

居酒屋チェーン「とりの介」「山の猿」などを展開するアイックス(札幌)は30日、新業態の格安居酒屋「十勝居酒屋商店 ととと 帯広駅前店」＝写真＝を帯広市西2南11に



オープンする。メニューは約70種。200～300円台の通常メニューを中心に、十勝産ナガイモを使ったフライドポテト、中札内産地鶏の焼き鳥や枝豆など地元メニューにもこだわっている。お通しや席料はなく、生ビール1杯350円、ハイボール1杯260円と酒類も安めにする。同社は既存店で通常2400円前後の平均客単価の目安を1800円に設定している。テーブル席のみで71席。

同社は7月にも札幌市内に格安居酒屋の1号店を出店しており「安くてもこだわりのある地元食材を提供し、集客に結びつきたい」(宣伝・広報部)と話す。

■牛肉青菜炒めを簡単に

日本ハムは、簡単に本格的な中華料理を楽しむ「中華名菜 牛肉青菜炒め 黒こしょうソース」＝写真＝を発売した。下ごしらえした牛肉やタケノコなどの具材が入っており、小松菜かチンゲンサイを加えフライパンで炒めるだけで作れる。



特製ソース付きで、希望小売価格は442円。問い合わせは通話無料のお客サービス室 ☎0120・029588へ。

■カーナビ改良した「1シリーズ」

BMWの日本法人ビー・エム・ダブリューは、「1シリーズ」＝写真＝を一部改良して発売した。カーナビの案内を表示する画面を、手で触れて操作できるようにした。座席前方にあるエアコンの吹き出し口の周辺はデザインを変更し、上質感を向上させた。希望小売価格は317万円から。問い合わせは通話無料のカスタマー・インタラクティブセンター ☎0120・269437へ。



■上質な香りのトイレ消臭剤

小林製薬は、消臭しながら上質な香りも楽しめるトイレ用スプレー

「消臭スプレー」を発売した。消臭しながら上質な香りも楽しめるトイレ用スプレー

国土交通省は29日、国が管理する26空港の2016年度収支試算を発表した。着陸料などの本体事業と空港ビルのテナント収入などの空港関連事業を合わせた全体の営業利益は179億4000万円で、3年連続の黒字だった。道内5空港は新千歳が羽田に次ぐ黒字額を確保した一方、稚内、釧路、函館、丘珠の4空港は赤字だった。

営業損益が黒字だったのは羽田、新千歳、松山、広島、4空港。営業利益は羽田が前年度比9.2%増の277億4700万円、新千歳が8.0%減の57億9800万円で、全空港の利益の大半を2空港が占めた。新千歳は国際便の発着数の増加で増収となったが、滑走路の老朽化対策工事費用がかさみ減益となった。

新千歳を除く道内4空港は、稚内、釧路、函館の3空港で営業損失が拡大。除雪に伴う管理費の増加などが響いた。丘珠はわずかに赤字幅が縮小した。26空港全体の本体事業は、営業損益が198億2600万円の赤字(15年度は204億5700万円の赤字)。空港ビル内の物販や駐車場収入からなる空港関連事業の営業利益は1.3%減の377億3千万円だった。外国人客の増加が全体の収益改善に寄与した。昨年7月に仙台空港が国管理から外れたため、減益となった。

国が管理する道内5空港の営業

空港	2016年度	15年度
新千歳	57億9800万円	63億円
稚内	▲12億2700万円	▲8億5000万円
釧路	▲10億3900万円	▲8億9100万円
函館	▲10億2900万円	▲9億2500万円
丘珠	▲3億4100万円	▲3億5600万円

16年度試算 国際便発着増で

十勝野菜 香港へ初荷



【芽室】道外ベンチャー

企業や日本航空が十勝産野菜を空路で香港へ輸出する空輸第1便の出発式が29日、十勝管内芽室町で行われた。同町の生産者が育てたトウモロコシやトマトなど約1トが帯広空港から羽田空港経由で香港に輸送される。収穫から2日程度で香港のスーパーに並ぶという、鮮度が求められるため

船便では輸出が難しい葉物野菜なども扱える。今年は週1便のペースで出荷する。

野菜や果物を独自の流通網で販売するベンチャー企業、農業総合研究所(和歌山)が香港での2年間の市場調査を終え、本格販売に踏み切った。業務提携を結ぶ北海道銀行の紹介で、芽室町の生産者グループ「なまら十勝野」(小山勉代表)が参加。海外でも特に需要のあるキャベツやレタスなどの葉物野菜を中心に、日



総合研究所によると、来年以降は週3便に拡大し、香